

平成30年9月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日 時：平成30年9月21日（金）14：00～15：25

場 所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 石橋委員 米倉委員 小山委員 松本委員 大賀委員

欠席委員：なし

事務局：青谷教育部長 簗原教育総務課長 木部学校教育課長兼主幹指導主事 中村生涯学習推進課長 桐原青少年育成課長 力丸文化課長 辻学校給食センター所長 伊丹指導主事 教育総務課庶務係（松尾、民谷）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流
 - ・スマートフォンの使用について
 - (3) 教育委員会報告
 - ・市議会第3回定例会について
4. 議案 なし
5. 協議事項 なし
6. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会

14時00分、議長が開会を宣言。

今日は午前中、青柳小学校の学校訪問でした。いつもと違う訪問をさせてもらい、給食を子どもたちと試食し、会話を楽しみました。

2. 教育長あいさつ

3. 諸報告

(1) 教育長報告

（行事等）

今朝の学校訪問ありがとうございました。このメンバーでの学校訪問はあと1回、来週の古賀北中学校があります。よろしく願います。教育委員会はこのメンバーでは本日が最後となります。10月からは新たなお二人を迎えての会議となります。

(2) 教育委員情報交流

石橋議長 今日の情報交流はスマートフォンの使用について、意見交流していきたい。

教育長 教育委員の情報交流は、私が教育長になってから何か特色を出したいと思い、始めたこ

とですが、それぞれの立場からいろいろな情報をいただいてよかったなど、今後も続けていきたいと思っておりますが、このメンバーでは今回が最後の情報交流となります。A I、I O T、I C Tとか、世の中これで進んでいくので、それに合わせた教育をしていくことは当たり前のことだが、資料にスマホ脳とあるが、人間の頭の使い方が変わってきているのかなと思っております。例えば、今年の春、玄望園で県の防災訓練がありました。カーナビで玄望園を調べてもわからない。だから道に迷ったという話が聞こえてきました。人間の脳が、ある部分では進化しているのだろうが、ある意味、本来、人間の使わなければならない脳がおかしくなっているのではないかと。青柳小でも言いましたが、書くこと。前近代的な授業だが模造紙に書いてまとめて発表する。これからはパソコンでプレゼンする時代なんでしょうけれど、文字を書く、漢字を間違っ先生に直してもらおう。昔であれば、地図をもって、頭の中に入れて、道を探していく能力があった。今はほとんどの方がカーナビで動くだろうから、逆に時間がかかることもあります。あまりにもスマホで調べるから、子どもがダメになっていくのではないかなと思っている。便利さがゆえに、脳の使い方が変わってきているのではないかと思う。ましてや、子どもたちはゲームをする。資料を見てみると、ゲームを小さい頃からすると、脳の組織が十分に成長しないとある。お母さんもスマホを見る、小さい子どもにもスマホで動画を見せる。レストランなどで見かけるが、親はメールをしている、子どもはゲームをしている。I C T教育と言われて、大事なことはわかっているのだが、本来あるべき、書くことが書けなくなったり、いわゆるコミュニケーション、相手の気持ちをおもんばかって話さなければならないことが話せない。それがいじめやさらに進んで不登校につながっているのではないかと思います。昔は直接話す、必ず言葉で伝える。声の大きさや抑揚で優しさや怒っているなということがわかったが、携帯やスマホだとわからない。文字ならまだわかるけど、絵文字ですから。今後、ほんとにこれでいいのかなと思っいます。ご意見をいただければと思っいます。

石橋議長 何かご意見ありますか。

小山委員 子どもたちがスマホを使っているのは子どもたちだけの責任ではないと思っいます。学校でもスマホの使い方や弊害など指導されていると思っいます。だけど、それがわかっいても、子どもたちはスマホにすごく執着を持っていると思っいます。人のつながりも今はスマホでつながっているような状況で、わかっはいるけれど切り離せないところもあると思っいます。まず、大人がスマホをずっと使っている状況なので、大人もやっているし、L I N E上の人間関係づくりを自分の中ではやっていかなければと子どもたちも思っっているのではないかと感じています。

石橋議長 スマホでのつながり、昔はなかったつながり方が現在できてきているということもありますね。

米倉委員 携帯の時代にトラブルがあっって、持たせないようにしようとか、学校に持ってこさせないようにしようとかありましたが今はなくなりました。あの当時は親も使っいなかったが、今はむしろ大人が使いこなせないから、子どもに使い方を聞いている状況がある。

- 親もスマホがあれば子どもの情報がわかるから、意識して持たせようとするところもある。使ったことでどういうことが起こるのかということをしっかり考えていかないといけない。経済的にもかなりかかるし、スマホ料金を1万円近く使っているのが大半とか。このような状況になっているから、もっと考えないと追いつかなくなる気がしています。
- 石橋議長 使い方を考えていかななくてはいけないということですね。他にご意見ありませんか。
- 松本委員 以前はテレビを見すぎていることが問題でPTCAとかで話題になっていたが、今はスマホの弊害が出てきている。親が持ち歩いているし、レストランに行っても親はスマホを見て、子どもは横で、ということをしょっちゅう見かける。どうするかというと、学校などで親の指導というか、家に帰って時間を決めるとか。学校教育の中でしていかないと、家庭では無理なのではないかと最近思います。
- 石橋議長 本当は家庭ですべきことだろうが、ただ家庭でセーブできない、制御ができないことになれば、どこかで、学校ならば約束を決めなければならない状況になってきている。文化的な価値だけではなく、脳とか生物学的な部分に関わってくると心配ですね。
- 米倉委員 子どもにも影響はあるが、我々の年齢でスマホを使うと、認知症になりやすいというデータもあります。我々の世代で認知症になりやすいということは、子どもの時代からやっているとずっと違う影響がでてくると思う。先ほど、言葉足らずだったが、昔はスマホ、携帯が悪いものだと、子どもがやっているから注意しようということだったが、むしろ今は親が使っている。使い方なり持たせ方なりを考えないといけないと思う。
- 小山委員 スマホって、子どもだけ、親だけというよりも、その周りの人たちのつながりが多いと思います。自分たちだけ、家族だけというよりも、周りの集団との関わりの中で、その集団も含めてみんなでどうしていこうという方向にもっていかないとなかなか厳しいと思います。特に子どもは友達関係でLINEの交換をするから、相手の友達にも理解してもらおうと思うのなら、集団のところでみんなで一緒に考えられる機会があるのではないかと思います。
- 大賀委員 子どもたちはスマートフォンにしてもオンラインゲームにしても、インターネットに依存していると感じました。LINEなどの使用時間と算数・数学の正答率のところで、勉強しているのに成績が下がるという情報は衝撃的でした。この問題には親子でのコミュニケーションが一番大事なのではないかと感じました。ゲームにしてもLINEにしても、今の時代はそれが友達とのコミュニケーションになっています。大人でも言葉だけのやりとりはかなり誤解を生じるとは思うのですが、子どもだとなおさらそれがトラブルになるのではないかと思います。先日小学校で保護者会の時に、子どもたちのトラブルの話がありました。私も子どももそのゲーム自体を知らないのですが、学校からの情報をもらって共有できるところが大事なのではないかなと思います。改めて、情報をもとに、インターネットにしてもゲームにしても話をする機会もできましたし、子どもたちが今どういうことをしているのかということを知るいい機会になったのではないかと思います。また、自己肯定感を高めるには親子で向き合って会話をすることが大事だということもありました。学校からこういうことが起こっているということを発信してもらって、PTCAからでも情報を発信してもらえれば、簡単なことから子どもた

ちも親もできていくのではないかと思いました。

石橋議長 今日、青柳小学校に行って、いいね活動がいいねと言ったのですが、いいねという言葉もSNSの発想ですよ。そういうことをうまく利用して、子どもたちにも植え付けながら、教育活動に結び付けていこうと。スマホが付加価値をつけすぎている気がします。スマホの利用によるいじめも出てきている。ゲーム機を使った教育を研究したことがありますが、学校教育にもスマホをうまく使えば効果的にはなってくるかもしれないが、人間を退化させていく気がします。

大賀委員 書くことを先ほど言われていたが、子どもたちが漢字検定を勉強しているのだが、その横で私、漢字を忘れていっているなどと思い、メールを打っていると漢字が出てくる。それでどんどん抜けていくんだなどと思って。自分も書いてないなどと思いました。

米倉委員 便利すぎて手放せない。今以上に入り込んでくる。スマホの使い方も含めて、便利さ、マイナス面を勉強して、使いながらやっていくしかないのかなという気はする。

石橋議長 そうですね。学校教育の中で情報教育の中で大きく取り上げてもらい、使い方や弊害をきちんとわからせて、理解させて、使わせる。そうすると、いい使い方ができると思います。

小山委員 スマホに対する教育は学校では中学生を対象にされているのでしょうか。小学生も勉強しているのですか。

学校教育課長 学校だけでは限界があるので、PTCAの講演会や親子で学ぶ規範意識の学習会があります。子どもだけではなく、保護者の方も一緒になってスマホの正しい使い方について学ぶということは小学校からしています。

小山委員 早いなら早い方がいいです。一人1台持つ前に学習しておかないと、持って、習慣がついた後に勉強しても、手放すこともできないし、使い方を変えることは難しいと思います。早い時期に学習できればいいと思います。

石橋議長 結論が出るようなことではないので、皆さんがお考えになることを出してもらったのですが、米倉委員が言われた、わからせるということ。弊害といいところをわからせて使わせる。規制ばかりかけてもうまくいかないでしょうから、使い方の理解をさせながら、効果的な方法として、生活の一手段として使ってもらおうということを、小さい頃から植え付けていけば大きな問題にはつながらないのではないかと思います。以上で、情報交流を終わります。

(3) 教育委員会報告

教育部長 市議会第3回定例会について報告します。最終日が9月25日となっており、採決が終わっている教育部関連の議案と一般質問について報告します。議案では教育委員2名の任命について、8月30日の本会議にて、石橋委員の後任に木村眞由美さん、小山委員の後任に小山和美さんを任命することで、市議会議員全員の同意を得まして決定されておりますので報告させていただきます。なお、議員から教育委員の任命について、公募制を導入してはという質疑がございましたが、本市は公募制に頼るより、日頃から人間性や、地域における活動を見聞きしている方に教育課題を担っていただきたいというこ

とで、公募制はしていないということで回答しております。

一般質問については、まず古賀議員から、子どもの安全安心は図られているか。全国で多発する自然災害に対し、古賀市の取組は進んでいるか、と題し質問がありました。その中で通学路での安全点検での質問については、学校とPTCAが点検を行っており、教育総務課職員も現地確認を行い、現状把握をしております。今後は関係部署と情報を共有しながら、所有者等に文書等により啓発を行うこととしております。また、通学路への防犯カメラの設置については、必要があれば学校にも相談の上、警察の助言等もいただきながら防犯カメラの設置については検討していくと回答しております。また、災害時の対応について、子どもの登校時の安全確保については、早めの対応をする必要があるということと、避難所となる小学校体育館のトイレの洋式化について質問がありました。トイレについては大規模改修時に併せて、長寿命化計画の中で整備していく旨を回答しております。

内場議員から市長の選挙公約はどうなったかということで質問がありました。その中で、小中学校のエアコン設置の前倒しについて質問がありました。市長から小中学校のエアコン整備については平成31年度から3カ年をかけて、段階的に整備する計画であるが、国からの補助金の受け入れを前提とし、可能な限り前倒しを実施することで努力していきたいと答弁をしております。また、熱中症に対して、中学生が夏休みの部活動中に救急搬送されたことに対する質問がありました。これについては、夏休み期間などにおける部活動の在り方を3中学校に指導を行うとともに、子どもの安全指導については、校長会等で徹底していくと回答しております。

伊東議員からすべての子どもに学習の機会を保障するために、と題し質問がありました。主に、不登校の子どもへの対応に関する質問であり、心の教室相談員を常駐、スクールソーシャルワーカーを増員できないかという質問があり、心の教室相談員だけではなく、担任などが中心となりチームを組んで早期対応に努めていること、スクールソーシャルワーカーは家庭を訪問するなど、不登校の児童生徒に積極的に関わっており、まずはスクールソーシャルワーカーの増員は行わず、担任や小1プロブレム対策学級補助員、少人数学級対応講師、保護者など、様々な関わりの中で対応を工夫しながら取組を継続していきたい旨の回答をしております。また、あすなる教室の受け入れ態勢に関する質問があり、本市は3カ所の児童館、児童センターで学習の機会を与えており、その3つの児童館、児童センターをあすなる教室の分室として考えているということで回答しております。

平木議員から、さらに子育てしやすいまちに、と題して、就学援助の入学前支給の予定についての質問がありました。就学援助の新入学児童生徒学用品費は今年度から前倒しで4月に支給することにしてありますが、入学前支給については平成32年度に入学する児童生徒から支給することで現在準備を進めているという回答をしております。

吉住議員から先の大戦記の改元事業と題して、来年は改元を迎えることを機に、市が公的責任で戦争体験者の生の声や記憶を証言集として残すべきではないかという主旨での質問がありました。現在、市では文化課が主に地域の聞き取りを実施している中で、戦争

体験等を語れる方がいらっしゃれば聞き取りをしております。次世代に継承していくことは大変重要ですので、今後、証言集として残すことを一事業として実施するかどうかは全庁的に整理すべき課題ではないかと回答しております。学校の中でも、毎年遺族会や被爆体験がある方の体験をお聞きすることもあります。最近ではテープに起こす取組も行っております。特に小野小学校については司令部が置かれていた事実もありますことから、例えば、今後、古い学校での戦争に関する記録等も掘り起こしていくことも必要ではないかということで回答をしております。

福崎議員からPTCAとの連携について、と題し主に通学路の危険箇所の把握や、宮地岳線跡地の通学路としての活用について、災害避難時の学校施設での課題等について質問がありました。その中で緊急時に学校の教室の確保を検討してほしいという質問があり、各学校には和室があり、その和室を開放することについては、既に校長会にもお願いしており、今後、市の方針としても整理していると回答しております。併せて、今回避難所となった体育館の横に設置している自動販売機を避難者が利用していたという報告もあり、これについては現在小中学校に設置されている自動販売機は災害時に提供できる自動販売機として設置しております。また、子どもの水分補給用として、平時にも緊急時にも利用できるウォーターサーバー、ウォータークーラーの設置を検討してほしいとの質問がありました。ウォータークーラーについては、以前は設置していましたが、衛生面から現在はすべて撤去しており、今後の設置については検討課題とすると回答しております。

また、4日に開催された文教厚生委員会において、平成29年度古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について報告を行っております。その後、速やかに市のホームページにも掲載をしております。以上、議会報告を終わります。

4. 議案 なし

5. 協議事項 なし

6. その他事項

(1) 各課(所属) 報告

ア、教育部長 なし

イ、教育総務課 なし

ウ、学校教育課

- ・不登校児童生徒数について、8月については大きな動きはありません。今後とも関係機関や市の人的配置を有効活用しながら、不登校への取組を徹底していきたいと考えております。
- ・古賀北中学校、舞の里小学校の学校訪問について。古賀北中学校の学校訪問については、ニーズ型の訪問となっております。福岡教育事務所から3名指導主事が参加いたします。その指導助言の時間を十分に確保するために、市教委の指導助言は意見交流の時間のみ

となります。舞の里小学校の学校訪問は改めてご案内させていただきます。

- ・千鳥小学校研究発表会について。10月24日です。よろしくお願いいたします。
- ・全国学力・学習状況調査結果について。小学校では国語A、算数Aが全国平均を若干下回りましたが、国語B、算数B、理科は上回っております。中学校では数学A、Bは全国平均を若干下回るものの、国語A、Bと理科は全国平均並みで、県平均を上回っております。児童質問紙について、自分にはよいところがある、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う、という質問項目については、昨年比を上回っており、全国の割合を超えております。また、地域の人と関わる機会があるかということと、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある、と回答した児童の割合は全国の割合を大きく超えております。中学校の生徒質問紙では、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う、人の役に立つ人間になりたい、と回答した生徒が昨年を上回り、全国の割合を超えております。地域の人と関わる機会があると回答した生徒が昨年を上回り、全国の割合を超えております。これらを総合的に見ますと、強い小中連携のもと、9年間を見通した一貫性のある教育活動の取組や、人権教育、キャリア教育、体験活動をはじめとした教育の充実が子どもたちの自尊感情を高め、ひいては学力向上につながっていると考えております。それから、各校のPTCA活動や地域性を生かした教育活動が充実しておりまして、そのことが子どもたちひとり一人が地域に関心を持つということや、地域に貢献しようとする子どもたちの育ちにつながっているのではないかととらえております。理科の結果は全国的にも厳しい時代があったのですが、今回の結果から前回調査よりかなり伸びていることがわかりました。その要因を探りましたところ、市の主催研修の理科指導に関わる授業研修会を位置付けて実施をしておりまして、各校の理科の授業改善が進んでいるからではないかというふうにとらえております。それから、学力向上推進会議を長年、年3回実施しております。この推進会議が大きな役割を担っておりますので、内容をさらに充実させて、日々の授業改善やカリキュラムマネジメントの充実につなげていきたいと考えております。
- ・学校フェスタの日程について。10月24日から12月15日まで、それぞれの小中学校でフェスタ等にかかわる催しがございますので、可能な限り見ていただき、励ましてもらいたいと思います。
- ・教職員の研修については記載のとおりです。
- ・その他、前期終業式が10月5日、後期始業式が10月9日です。
- ・職業体験学習を中学校2年生のすべての学校で行っております。9月10日から5日間行われ、市内の140事業所にご協力をいただき、無事終わっております。報告書の作成に向け、それぞれの学校が取り組んでいるところでございます。

エ、生涯学習推進課 なし

オ、文化課

- ・芸術文化の祭典が開催されます。10月4日から8日まで美術展、10月6日から8日

まで舞台芸能がリーパスプラザこがで行われます。様々なイベントが催されますので、ご覧ください。芸術文化の祭典については、昨年までは芸術祭、文化祭と別々に行っておりましたが、今年度からひとつにまとめて行っております。

カ、青少年育成課

- ・古賀市少年の船の8月18日出航式、22日帰港式、8月27日地域つながりあいさつ運動への出席ありがとうございました。
- ・9月29日、青少年健全育成会議を交流館多目的ホールで開催します。

キ、給食センター

- ・給食センターでは、9月と10月に給食センター見学を実施いたします。9月10日花見小学校、12日小野小学校、18日古賀西小学校、20日青柳小学校、21日舞の里小学校がセンターに来て、場内の施設や調理しているところを見学しております。また、調理員と同じ服装を4人の代表の子どもたちがしたり、大釜に何人入れるかという体験をひもを使ってしております。質問コーナーには調理員さんも入ってもらい、給食を作る上で大変なところとか、給食に対する思いを子どもたちに伝えてもらっています。

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (11月定例教育委員会の日程調整)

石橋議長 11月定例教育委員会は11月22日13時30分からとします。

7. 閉会

石橋議長 私と小山委員は教育委員会に参加するのは、今日で終わりですので一言ずつ挨拶をさせていただきますと思います。

小山委員 長い間ありがとうございました。教育委員として関わりを持たせていただいたおかげで、学校の取組や生涯学習とか、給食センターとか、それぞれ皆さんがやっていたらしゃる取組に触れることができ、私自身も考える機会になったと思っています。皆さんが前向きに、意欲をもってやってくださっているということが委員会を通して、発想を通して十分伝わってきています。これからも市民のためにご尽力いただければありがたいと思います。ありがとうございました。

石橋議長 古賀北中学校の学校訪問が終わりましたら退任ということになります。小山委員と8年前に教育委員という職をお引き受けしました。いつの間にか8年経っておりました。私は高等学校の教員だったので、義務制に関わることはほとんどありませんでしたが、教育委員を引き受け、義務制の小中学校に入り、先生方がどのような生活をなさっているのか、子どもたちがどういう授業を受けているのかということを見させてもらう機会を得たことを大変うれしく思っております。教育委員としては力になっていないと思っておりますが、私自身はずいぶん勉強になりました。高等学校との文化の違いをひしひしと

感じました。高等学校は義務制の先生方と比べると勉強不足なのではないかという部分があるのではないかと考えております。特に小学校の先生はよく勉強するし、よく研修をなさっております。すごいエネルギーだなと思います。学力的にも生活的にも格差がある中で、子どもたちの教育をなさっていることに感心しましたし、大変だなと思いました。ただ、ひとつだけ義務制の先生方をお願いしておきたい心配事があるのですが、研修、研究、勉強をものすごくされるということはよくわかりました。ただ、自分のための研修、研究になっていないか、ということ先生たちには自覚し、生徒に還元できる研修、研究、勉強になっているのかというところに視点を置いて、これから先も勉強していただきたいなと思います。委員会からのご指導もお願いしたいと思います。いずれにしましても、古賀市は教育委員会と学校が密接につながっており、先進的な事業をたくさんされていて、教育委員をさせてもらったことを幸せに思っております。8年間本当にお世話になりました。

議長が閉会を宣言し、15時25分閉会した。